

デーリー東北
2019年(平成31年)4月20日(土曜日)(14)

「七夕まつり」出品 チーノの七夕飾り

八工大生がデザイン

八戸

八戸工業大感性デザイン学部創生デザイン学科の学生は2018年度、八戸市の「チーノはちのへ」が、「はちのへ七夕まつり」(7月、市中心街)に出品する七夕飾りのデザイン制作に取り組んだ。優秀作品の表彰式がこのほど、同大で開かれ、2年の貝塚彩乃さん(19)と千葉一穂さん(19)の作品が最優秀賞に輝いた。2作品をモデルにした七夕飾りは、同まつりで展示される。

(田中周菜)

チーノはちのへを運営する 隆男代表)は毎年、七夕まを展示している。これまでの「八戸スカイビル」(原 通り会場)で大型の七夕飾りは従業員のデザインを基



最優秀賞に選ばれた作品を掲げる貝塚彩乃さん(右)と千葉一穂さん

貝塚さん、千葉さん 最優秀賞

に、制作会社に依頼して作っていたが、今年は新たなアイデアを求め、同大に協力を呼び掛けた。

同学科の2年生が18年度、1年生時の授業内でデザインの考案に取り組み、個人やグループごとにアイデアを練った。その後、春休みなどを利用して、実物の4分の1スケールのモデルを制作。八戸の特産品を生かしたのもや夏らしい題材、花などをモチーフとした彩り豊かなものなど、趣向を凝らした作品がそろった。

表彰式では、同社の審査結果が発表され、14作品の制作者が表彰された。

最優秀賞の2作品はいずれも「市民の花」の菊をデザイン。貝塚さんと千葉さんはそれぞれ、「花びらの一枚ずつに勢いや存在感を持たせた」「小さな飾り部分に時間をかけて作った」と工夫した点を挙げた。